

環境調査結果のお知らせ

令和元年8月8日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温27～29℃、塩分25～34、溶存酸素量5～7mg/lでした。

透明度は3～5mで、有害種のカレニア・ミキモトイ、シャットネラ属、ヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温26.5～29.1℃、塩分24.6～33.8でした。前回調査時(R1.7.4)と比較して、水温は表層kから10m層で3.9～4.7℃上昇しました。塩分は表層で0.6上昇し、2m層から10m層で0.7～1.3下降しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量4.6～7.4mg/lでした。

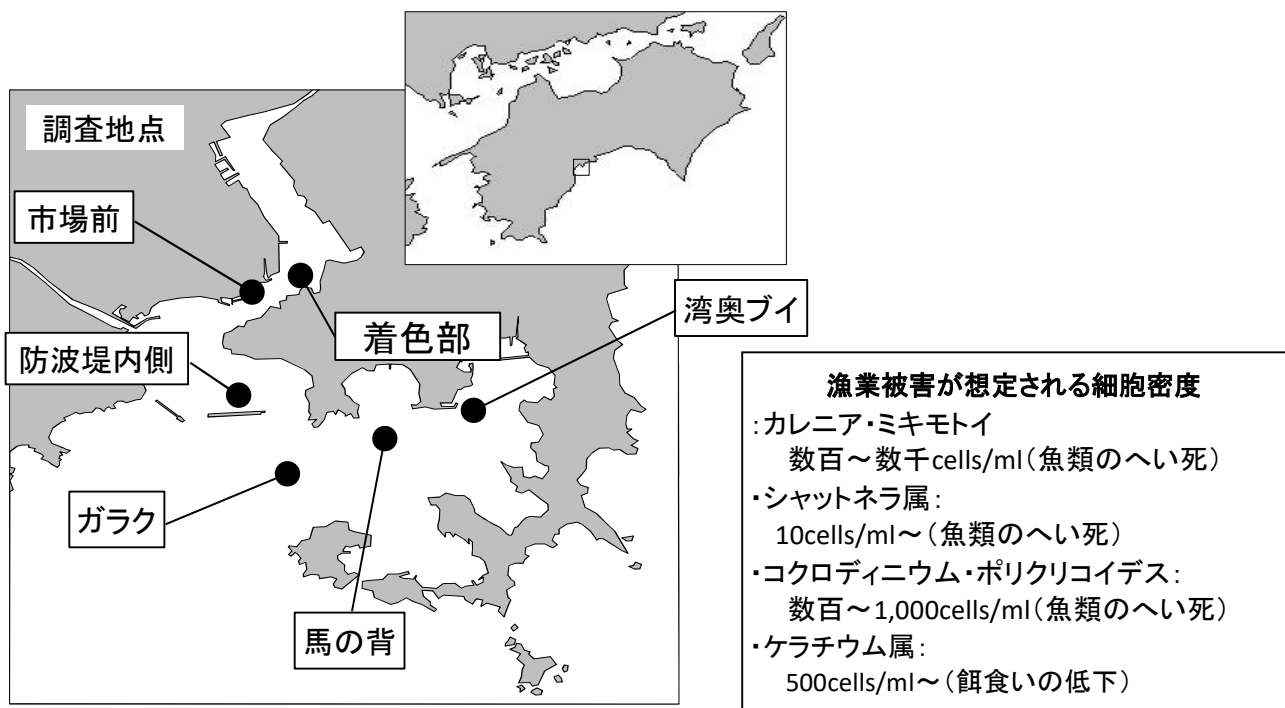
前回調査時(R1.7.4)と比較して、表層から10m層で0.2～1.2mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.0～4.5mでした。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で1cell/ml、シャットネラ属が最高で1cell/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で27,000cells/ml確認されました。ヘテロシグマ・アカシオは漁業被害が想定される密度ではありませんでしたが、非常に増殖が早いため、増殖、拡大する可能性があります。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。



令和元年8月8日

表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.7.4)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	29.0	29.1	29.1	28.2	29.1	24.4	4.7	28.7
2m	29.0	28.9	28.9	28.5	28.9	24.4	4.5	28.5
5m	28.8	28.7	28.9	28.7	28.8	24.2	4.6	28.4
10m	28.4	27.9	27.6	27.1	28.0	24.1	3.9	—
B-1m	27.2	26.5	27.5	27.0	—	—	—	27.9

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.7.4)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	29.8	30.3	29.9	24.6	30.0	29.4	0.6	16.8
2m	31.0	30.9	30.5	30.4	30.8	31.5	▲ 0.7	26.8
5m	31.6	31.7	31.6	31.3	31.6	32.9	▲ 1.3	31.5
10m	32.4	32.6	33.0	33.0	32.7	33.8	▲ 1.1	—
B-1m	33.6	33.8	33.4	33.0	—	—	—	32.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.7.4)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.0	6.0	5.9	7.4	6.0	7.2	▲ 1.2	7.5
2m	5.7	5.5	5.5	5.5	5.6	6.7	▲ 1.1	6.2
5m	5.4	4.9	5.4	5.3	5.3	5.7	▲ 0.4	5.4
10m	5.0	5.0	5.5	4.7	5.1	5.3	▲ 0.2	—
B-1m	4.7	4.6	5.6	4.8	—	—	—	4.9

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.2	24.2	15.3	15.1	10.2
透明度	4.5	3.5	4.0	3.0	2.0
前回(7/4)	4.0	3.5	4.0	3.5	1.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ・アカシオ	ケラチウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	2
	2m	0	0	0	0	25
	5m	0	0	0	0	5
馬の背	0m	0	1	10	0	10
	2m	0	0	5	0	10
	5m	1	0	4	0	5
ガラク	0m	0	0	5	0	15
	2m	0	0	10	0	20
	5m	0	0	0	0	25
津波防波堤内側	0m	0	0	800	0	50
	2m	0	1	70	0	20
	5m	1	0	0	0	10
市場前	0m	1	0	40	0	250
	2m	0	0	20	0	100
	5m	0	0	8	0	50
着色部	0m	0	0	27,000	0	0